

- (1) ブルブルビューン、怪人ガンマアののったヒコーキは、ブラックバードのいるところをさがして海の上をとびつづけます。
- (2) バードは「ラオーラオーガガガー」みるまにおそろしい人間の形になってヒコーキのゆくてに立ちふさがるのです。そして何かおそろしい力がその大入道の体から出てきました。
- (3) ヒューン キーン。ガンマアのヒコーキはそのままぐんぐん上から下へと押されるようにおちていきます。
- (4) 「あれは何だ、まさかアラビアンナイトに出てくる大入道ではあるまい。するとあれが太田博士の研究をうばっていったブラックバードか。ふーん」このとき
- (5) クルルルルルーン ヒュー。まんまるいタマが空をとんで、大空にあらわれた大入道の方へととんできました。そして、
- (6) パシーンと大入道にぶつかると、大入道のすがたはカキケスようにきえてしまいました。
- (7) ガンマアのヒコーキはつらくするのをあやういところで助かって、また空をとびつづけます。空とぶキューはそのままとび去っていきます。ガンマアは、
- (8) 空とぶキューを見おくつて「私を助けてくれたあのフシギなタマのノリモノにのっているのはダレだろう」それは、
- (9) 太田ハカセの娘ミドリと、ミドリを助けた山の科学者、小人ハカセでした。「ミドリさん、あのヒコーキに見おぼえはないかね」「はい、私何も知りません」
- (10) こちらはブラックバードです。「せっかく原始人間のキカイを使って大きなオレがガンマアのヒコーキの前に出ておどかしたのに、へんな丸いものにジャマされた。お前らはすぐにいけ」
- (11) ブル〜ビューン。ブラックバードのいいつけで手下たちののるヒコーキは小人ハカセとミドリののる空とぶキューをついせきします。果して